

## 「やってみよう！お家で写経」 ～東山旧岸邸の写経方法ご紹介～

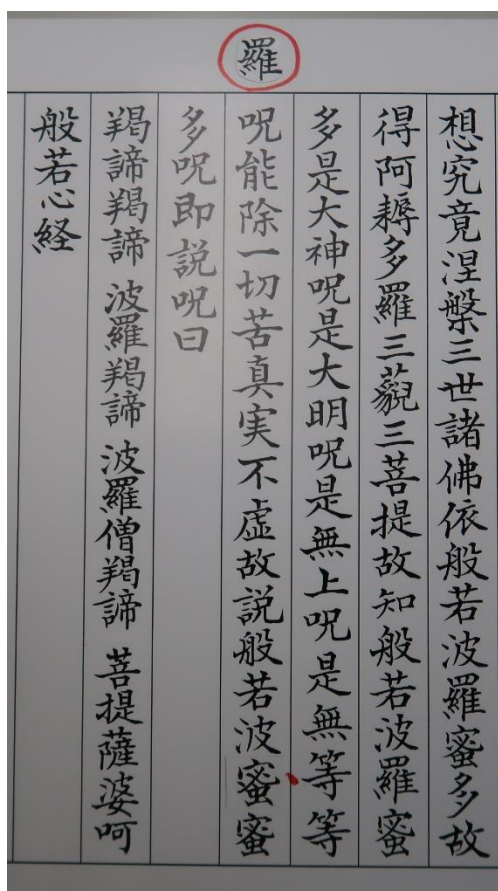
### 【準備】

- ・主な道具: 写経筆(筆ペン可)、写経用紙、お手本用写経用紙、硯、墨、水、墨汁、文鎮、毛氈(下敷き)
- ・準備: 汚れても良い服を着用する、もしくは作務衣など汚れ防止の上着を羽織る
- ・場所: 窓を少し開け半紙が浮かない程度の風が通り、鳥の声や水の音が聞こえると良いでしょう。お香を焚いても良いでしょう。雨音を聞きながら、雨の日の写経もおすすです。

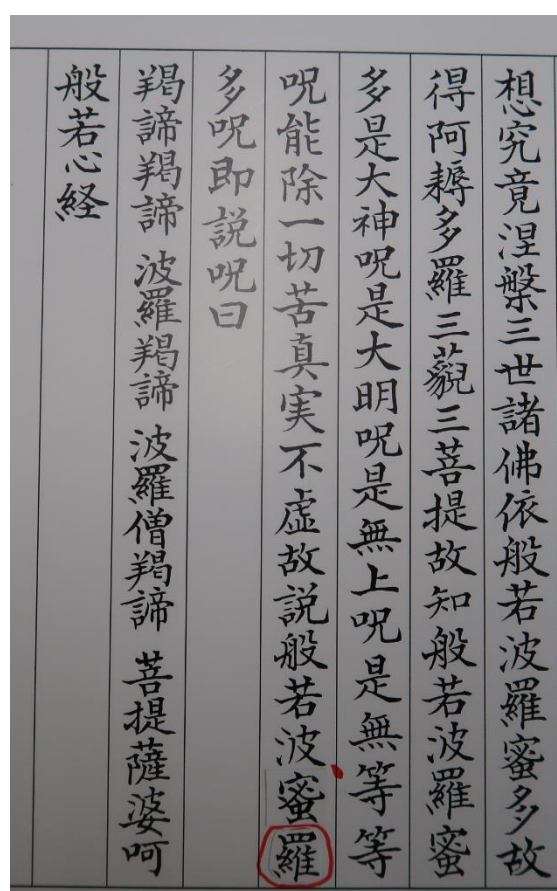
### 【手順】

- ① 塗香ずこう(粉末にしたお香を掌に塗りこみ、その香りを吸い込むことで手・鼻・口・精神を清める)
- ② 墨を擦る、景色を眺める、深呼吸するなどをして心を清め、写経を始める  
(お手本を下敷きに写経する方法と、お手本を横に置き見ながら写経する方法があります)
- ③ 誤字の場合・・・誤字の右側に点を打ち、同行の欄外(上下どららでも可)に正しい字を記す
- ④ 脱字の場合・・・脱字した前後の文字の間の右側に点を打ち、同行の下に抜けた文字を記す

### 【誤字の場合】

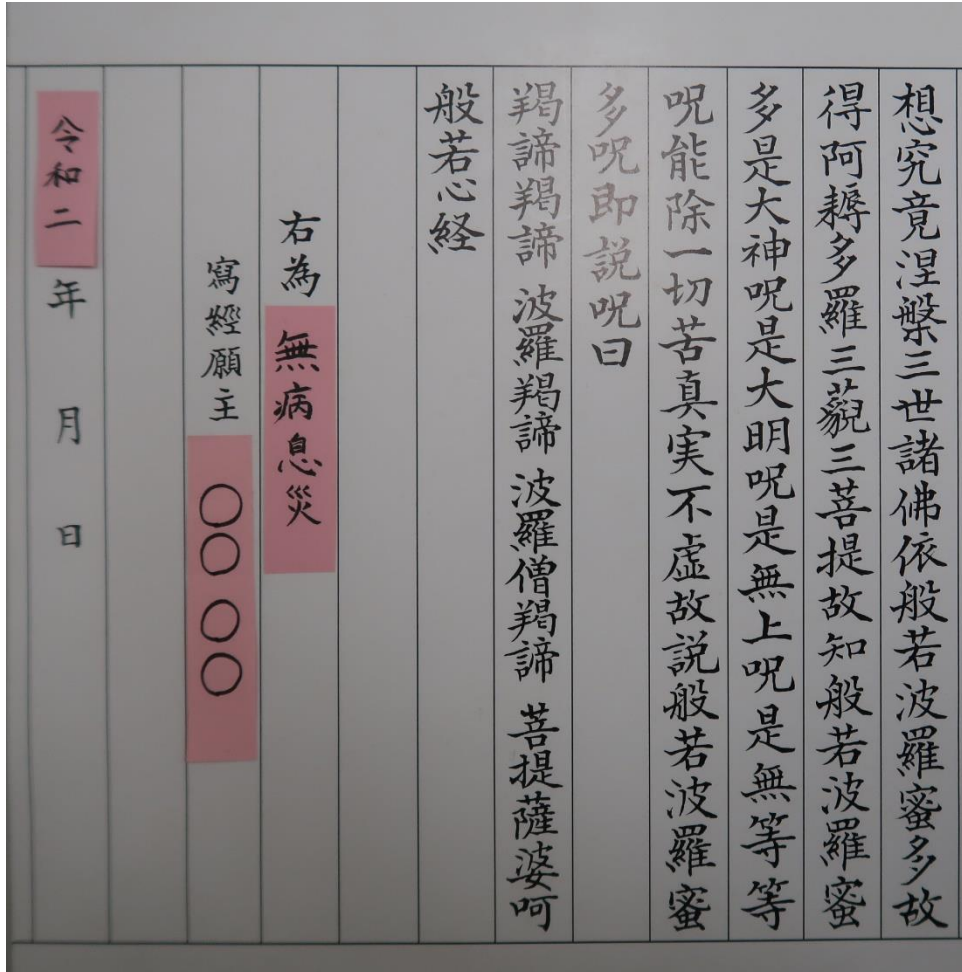


### 【脱字の場合】



- ⑤ 書き終わったら・・・願いごと、名前、日付を記す。願いごとは四字熟語でも文章でも構いません。  
 (例:無病息災、心願成就、早く平和な世界になりますよう)

【願いごと、名前、日付】



※写経用紙によって記入箇所の違いや、各々お作法の違いがございます。一例としてご参考ください。

東山旧岸邸では、写経後の用紙は各自お持ち帰り頂いていましたが、仏様へ奉納するか時をみて近隣のお寺でお焚き上げして頂くのもよいでしょう。なお、写経中は無理のない姿勢(正座でも椅子でも)で行いましょう。